

# 西光寺だより

第十四号 平成二十三年十月一日発行

秋も深まる十月になりました。四季の中でもとても過ごしやすい季節ですね。お天気の良い日の透き通るような高い空はこちらの心まで清くしてもらっているように感じます。

そして、澄んだ空気の中、眺める秋の夕日はとても美しいものですね。夏とは違うなんともいえぬその茜色を見つめっていると、なぜだかすこし寂しいような、人恋しいような気持ちになつてきます。そんな時にはこんな童謡が聞こえてきませんか。

「夕焼け小焼けで 日が暮れて 山のお寺の鐘がなる

おててつないで みなかえろう

からすと いっしょに かえりましょう」

皆様は、かえるところはありますか？安心できるところはありますか？

だれしもかえれるところがあるからこそ、明日をまた乗り越えることが出来るんですね。でも、ひとりなら？

大丈夫、いつもほとけさまはお傍にいてくださいます。

泣きながら帰ってくる幼子に「つらかったね。もう大丈夫だよ。」と抱きしめてくれるやわらかい母の胸の中のように、いつもいつも傍らで見守ってくださいますよ。

美しい夕日に抱かれながらどうぞ安心して今日を終え、そして明日を迎えましょう。

## ◆十月・十一月の行事◆

・十月五日（水）

大谷本廟墓参

午後二時

大谷本廟 お茶所集合

・十月十六日（日）

秋季永代経法要

午後二時・午後七時

西光寺本堂

◎御法話

本願寺派布教使

和氣 秀剛

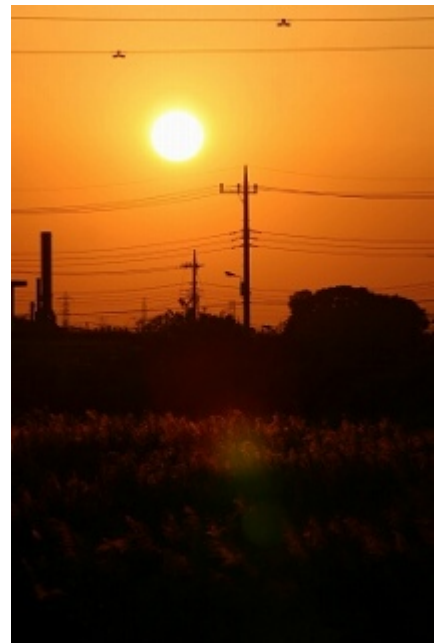
師（奈良県・圓光寺）

・十一月二十三日（祝・水）

報恩講法要

午後二時・午後七時

西光寺本堂



## ● 今月のことば ●

「ほとけさまは」(仏教讃歌)

ほとけさまは

どこに どこにいらっしやる

春は花咲く 枝のもと

夏は水辺の 草のかげ

秋は空ゆく 雲のうえ

冬は窓うつ 雪のなか

いつもどこかで 見ていて下さる

いつも 何かを教えてください

ほとけさまは

あれあれ あそこにいらっしやる

森山 美苗 作詞

引田龍太郎 作曲

## ◆ 先月の報告 ◆

九月十五日、茨木東組親鸞聖人七百五十回大遠忌法要団体参拝において、西光寺からは四十一名の門信徒の皆様とともに京都西本願寺に参拝してまいりました。

この度の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要参拝は前講長毎川健三・前住職櫻井善成が生前、力を注いでいた法要であり、皆様と一緒に参拝出来ることを望んでいた法要でありました。

今回、西光寺門信徒四十一名の皆様と共に参拝出来た事、大変うれしく感じております。私どもも含めて皆様と一緒に一日を過ごすことのできる機会は、なかなか少ないかと思えます。そんな中で、共に食事をして、本山において皆様で参拝できましたこと、とても良い思い出

になると感じました。それとともに御本尊、そして親鸞聖人の御前では前講長と前住職も傍で参拝しているような気がして、胸が熱くなる思いがいたしました。

皆様にはどのような一日でしたでしょうか。色々な出来事がありました。そしてまた、思い出の一つとして心に残るものであるとすれば幸甚です。

そしてまた、今後もこのような機会をつくっていかれたらと考えております。皆様、ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

本山参拝前、京都 角坊にて



団体参拝 京都 西本願寺にて

## ◎ あとがき ◎

仏教婦人会の皆様へ お詫び

九月二十一日(水)に予定してございました仏教婦人会報恩講は、台風の影響により今年中止とさせていただきます。重ねての急な変更にご迷惑をおかけしましたこと、誠に申し訳ありません。この場を借りてお詫び申し上げます。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九二

<http://www.osaka-saikouji.net/>